

# 藤間秋男の 100年企業創りレポート

- 今月の経営テーマ 「できる」と考えて行動しよう!  
「できる」と考えて行動することで次のようなメリットがあります。
- ①新しいアイデアが生まれます
  - ②粘り強く仕事に取り組みます
  - ③ビジネスチャンスが広がります
  - ④成功の可能性が高まります
  - ⑤お客様から信頼される会社になります



株式会社コスモ教育出版「理念と経営」カレンダーより

## (1) 10年前に書いた「TOMAの10年後のビジョン」より抜粋

(過去15年間日創研のビジョン経営沖縄セミナーを連続参加して

10年後のビジョンを創り続けたいです。) 10年後の年頭の手紙です。

① 15年前とビジョン経営沖縄セミナーをはじめ参加し、経営理念の必要性を感じ、経営理念塾を3回通い、自分の人生を考えた後、社員の幸せをつかむ経営理念と使命をつくりました。

② セミナー会場の不国津梁館を昔の沖縄サミットの会場にする準備の直前で亡くなった小沢川総理大臣の言葉(石碑)に感動しました。③ 宿命の生まれ、伝統ある明治23年創業の藤間司法書士事務所4代目の長男を任まる

④ 宿命に挑み「司法書士を継いだ方が楽な」祖父の念願にあたり、公認会計士系コンサルタントファームを創業しました。

⑤ 「宿命の燃え」明るく元気前向きに社員の幸せ創りを使命として燃えたいです。

そして今会長となり、会社経営を実現し各社長に権限委譲しました。(お客様の良本となる事業承継しました)

5年前の創立30周年記念には社員全員が、本/ルル7/ル2ランに参加し、走るも完走しました。宣言したことは必ず達成していく実行力はあつたといえる。それがTOMAグループ発展の理由の1つである。(結局5年連続本/ルルマソン完走しました)

## ③ 現在のTOMAグループは

- ① 社員のほとんどが本物の一流専門家
- ② 自分ブランドを持つ
- ③ 社員の多くが元気前向き
- ④ 多くの人が「いい仕事」をしている
- ⑤ 残業、休日出勤しなくて
- ⑥ 年間3000万円の本役員士を稼

専門家集団となりました。各人生き生きとやりがいの仕事をするに  
いける。

④ 仕事場は東横駅丸の内の高層ビル最上階500坪でカラオケバー  
やスナック・ジムなどもありです (今350坪です)

⑤ 祖父の夢は、左 弁護士、行政書士、不動産鑑定士などもあり  
7-11ストア、コニカミノルタグループでつくりました。

2008年4月18日 藤間秋男より 2018年の藤間秋男さんの  
ビジョンを、夢を語りながらつくりたいものをつくりたい。  
まだできていないことばかりです。10年前と比べて売上2倍  
売上2倍に達しています。利益は2倍には達していません。  
10年後のビジョン、夢つくりませんか?

(2) 300人が、ドラッカーを学びました。(2月6日(火) TOMA特別講義)  
ドラッカーは、マネジキオの父と呼ばれています (国永先生)

① 皆様の「経営はいくらですか?」 経験と勘で経営する時代は  
終わりました。変化が常態の時代に入りました。変化はコントロール  
できない。どうすればその先頭を立つことできる。

② 事業の目的は顧客の創造で喜ぶ人を増やすこと。(売上と利益は結果)  
ことではない

- ③ 経営者の仕事とは
- ① マーケティングとイノベーションで顧客を創造する。
  - ② 昨日を陳腐化させ明日を創りだす。
  - ③ 人の強みを発揮させ弱みを無意味なものにし人が共同して成果を  
あげられるようにする。

④ 計画を立て、実行する。→ 計画を立てる人が実行する。これが、  
モチベーションが高い。分けるモチベーションが下がる。

(藤間は、これが、1年かけてドラッカー塾に行きます。  
経営を体系的に学ぶという思いを皆様に紹介し  
ていきます。体系的な学ばせは必要です。

第25回  
(3) 一筆啓上賞(日本-短い手紙のコンクール) 大田文化財団主催  
テーマは「母」

- ① 「ママ」の「ママおまじかある」。右のママ。 杉山香都 (4才)
- ② 「お母さん」の「お母さん、空を飛べたい。お母さん、空を飛べたい。新しい  
星を飛ばして。 岩本翔真 (9才)



③母の「毎年差し替える遺影候補。気が済まないと繰り返し  
...よ。来年もその先もね。」今井良子(50才)

④お母さんの「死ななけしは、一緒に死ぬよ」この一言が私の  
生きを支えている 玉村綾音(13才)

⑤お母さんの「お母さんあるとしてお母さん顔い」はいどいも」と  
開き直るの。かまこ下村(生野薫(34才)

(母への思い出えますね。私の母も88才か。ええ、3か  
最近少し弱くなりました「親子行した時と親は存し」  
親子行してきます)

(4)国税OBが教える「相続税金格が外」(週刊文春 2018/4/11号)

あんなに止まるといふ。文春砲が、相続税第2弾出しました。

TOMAには、国税局OBが10人いるので、あたりまえの話なわけですか。

①財産が2億円を超えると、税務調査が入り、その80%を申告漏れをみる。

②死亡届を提出した自治体は、税務署に死亡届を、固定資産関係  
書類を添付します。

③財産1億円以上なら生前贈与を検討。

④妻が不在で相続は危ない。(2次相続も考えた相続税計算が)

⑤相続を詳しい税理士を揮す。

TOMAグループには、相続事業承継の専門部隊が40人

国税局OB10人、弁護士2人、司法書士5人、行政書士10人、12

万人の体制です。あいつの申告書には、書面添付申請をします

の、税務調査率が低く、申告の修正率も低くあります。

(お気軽に相談下さい)

(5)「あの人運が、いいよね」と言われる人の共通点 (里田美津奈)

①笑顔と手を合わせる。運と運は、もつたは

「また会いた」と思ふもつた必要が有ります。仏頂面より笑顔です。

②期待より少し上」を目指す。仕事こそ人間関係こそ、相手を救って

12レベルの少し上を目指します。

③何事も「ええええ」当り前を言ったり言ひましょう。

④安定感がある。

以上成功している人の特徴が、もしもあなたに。

...

(6)失敗 (ロ3秒で「ハッピー」になる  
名言セウセーのひまこは、たけ、ディズニー・トウエン・パーク)

①100%失敗しない方法 ⇒ 挑戦しないこと。  
でも人物の共通点。(成功者) ⇒ い、はい、失敗している。  
失敗の数と成功の数は比例している。

②「失敗」という経験は有り。経験とは成功の経験、と  
学びの経験、しかない。失敗があるからこそ挑戦し続ける  
損(挑戦し続ける人がたかたかた長生き) (武蔵野)

⑦会社が赤字になるのは、外部環境のせいではない。(小島元長の  
会社が赤字になるのは、社長が赤字でいい」と決定したことが、

会社が赤字になるのも、社長が倒産やあるしと決定したことが、  
経営環境が厳しいことが、わかっているから対策を取った。  
それは「赤字でいい」、「倒産していい」と決定したのと同じで、

会社は社長が決定したことに従うべきです。  
(会社が赤字や倒産するのは、99%社長の責任である)

⑧「理念と経営」の勉強会700回以上に行きました。(2017年12月)

①この仕事に「やりがい」も「天の道」と思ふ定め、最善を  
尽くす。その努力をしたとき、この仕事が「天職」になる。

②自分の人生を大切にすること。①②松村徳重会理事長、田坂田正塾塾長

③善を積んだ家には必ず「慶び」が来る。誰か何かを(して)  
よむと見返りを望むな。③原原かほり会長④岡崎商店岡田会長岡田常務

④何か判断する時は、「ふつと」従業員さんやお客様のことを  
思ふ。判断か、と自問している。⑤~⑦田舞徳太郎

⑧人手不足を嘆く前に、自身の怠慢がこの状況をつくっていることを反省。

⑨この労働時間規制では「日本の産業は海外に負けてしまっている

⑩安易な働き方改革は、高貴な勤勉の徳を殺してしまいませんか?



脳科学者 茂木健一郎氏の名言 (ウェブサイト「地球の名言」より)  
「自分の欠点を自分で笑う。一流といわれる人は、それができています。」  
「間違いを犯してそれを改めるのは、それに気付いた瞬間にやるのが一番良い。」  
「逆境におかれると、脳は自分の欠点さえも、長所に変えて乗り越えようとする。」  
「記憶を組み合わせて新しいものを生み出すのが『創造性』。」  
「どんなに小さなことでもよいから、自分が楽しめて、達成感を持つようにできることと、没入するのがよい。その結果得られるささやかな成功が、脳を変えていくのである。」